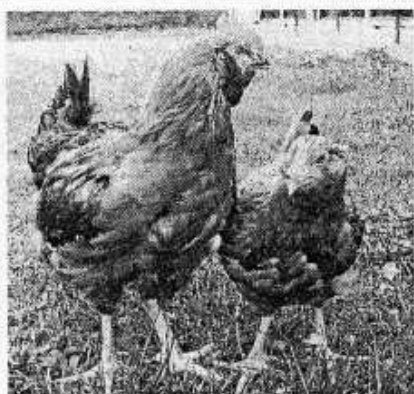


農業技術 プリズム

県畜産試験場



交配様式が決定した「新銘柄地鶏」

県には肉の食味に優れた「対馬地鶏」という在来鶏がいます。この「対馬地鶏」を活用し、ブロイラーよりもおいしく、80〜90日齢で仕上がる新銘柄地鶏を作出しましたので、紹介しま

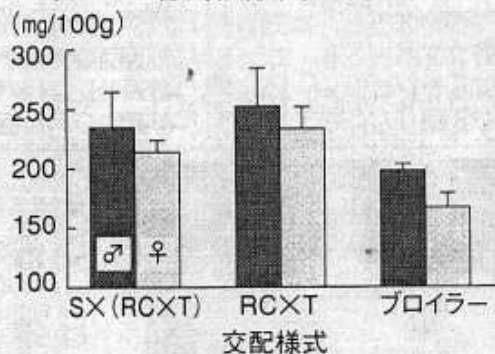
一般に地鶏はブロイラーに比べ、うま味では優れています。が、発育が遅いため出荷までに約120日程度を要します。そこで、母には「対馬地鶏」を、父には成長が早いシャモやレッドコーニッシュ、ホワイトロックスなどの肉専用種を用いて5種

好ましい交配確定

「対馬地鶏」を活用した
県産新銘柄地鶏の開発

類の新銘柄地鶏の候補鶏を作出し、増体量、羽装、うま味成分および食味などについて調査し、適正交配様式を検討しました。

イノシン酸(核酸関連物質)含量



この結果、「レッドコーニッシュ×対馬地鶏♀」の交配様式がうま味成分の指標である「イノシン酸」含量が高く、食味調査においても歯応えがありました。また、発育についても約80〜90日齢程度で出荷できることから、この交配様式を新銘柄地鶏の交配様式として決定しました。

新銘柄地鶏は今後、県産ブランド品として長崎県を代表する地鶏となることが期待されます。(県畜産試験場中小家畜科・川崎奈奈)